

科目ナンバリング		U-LAS04 20042 LJ32										
授業科目名 <英訳>		ジェンダー論 Gender Studies					担当者所属 職名・氏名		文学研究科 教授 川島 隆			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	教育・心理・社会(各論)			使用言語	日本語			
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）					
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	火3		配当学年	全回生	対象学生	全学向			
[授業の概要・目的]												
現代社会に生きる女性や男性は、その性別（ジェンダー）ゆえに、どのような問題に直面しているのだろうか。その現実にも面的に光を当て、淵源を探ることにより、日常の中でジェンダーにまつわる問題に気づき、課題解決のための実践ができるようになるための基礎的知識を身につけることをめざす。 「性」が生物学的にどのように位置づけられてきたかを押さえることから出発し、今年度は特に「文化産業」という観点からジェンダーを考える。 オムニバス講義のかたちをとり、学内外からゲストスピーカーをお招きして、さまざまな研究分野においてジェンダーが開くパースペクティブを示していただく。特に男性にとってジェンダー問題とはどのような意味をもつのかについての講義を充実させる予定である。また性的同意についてのワークショップなど、日常の実践に役立つ授業も計画している。												
[到達目標]												
(1) 日常の中でジェンダーにまつわる問題に気づくことができるようになる。 (2) ジェンダーについて筋道立てて考えるための視角と基礎的知識を得る。 (3) 現代日本のジェンダーを広い視野に位置づけて理解し、課題解決の方法についての見通しをもつ。												
[授業計画と内容]												
第1回 導入 第2回 生物学的に見た性別 第3回 社会科学とジェンダー 第4回 社会文化的に見たジェンダー 第5回 日本文学とジェンダー 第6回 西洋文学とジェンダー 第7回 絵画とジェンダー 第8回 映画とジェンダー 第9回 音楽とジェンダー 第10回 TVゲームとジェンダー 第11回 戦争とジェンダー 第12回 男性性（マスキュリニティ） 第13回 LGBT、SOGI 第14回 日常における実践 第15回 フィードバック												
（ゲストスピーカーの都合により順序や内容が変更になる場合がある）												
ジェンダー論(2)へ続く ↓ ↓ ↓												

ジェンダー論(2)

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

平常点（毎回提出する小レポート）により評価する。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）
授業中に紹介する

（関連URL）
<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>(これまでの年度の講義の公開動画を視聴できる。)

【授業外学修（予習・復習）等】

毎回の授業の後、1週間以内に小レポートを書いて提出する。

【その他（オフィスアワー等）】

【主要授業科目（学部・学科名）】